

Library News



京教図書館 News

2008

10

私のすすめるこの1冊・・・ 安東茂樹(産業技術科学科 教授)

札埜和男 著 『大阪弁「ほんまもん」講座』

人は道具を使う動物である。道具を使うことで進化し、人としての知能を高めてきた。道具と一口に言っても、目に見えるものだけではない。“言語”もまた、人が人として生きていく上で欠かせない、大切な道具の一つである。

言語として用いる言葉は、極めて身近な存在でありながら、普段あまり意識することの無い道具だ。生活に密着している……どこか、ちょっと思考するのにさえ、人はその道具を必要としている。

今回、わたしの紹介する本は、その言葉について書かれたものだ。

少し大上段な入り方をした。言葉について書かれたといっても、その道のプロが読み解く難解な書物ではないのでご安心を。

『大阪弁「ほんまもん」講座 札埜和男』

生活に密着している言葉の中でも、方言というものは、さらに身近な、その人を形作る要素とまで言えるだろう。本書は、その方言の中でも、大阪弁について書かれたものである。

大阪弁は、全国メディアでの露出の多い方言だ。泣く子も黙る吉本興業の芸人さん（関西地方では、うるさく泣き止まない子に「ヨシモト入れるよ」と怒ると泣き止むという）をはじめ、多くの大阪出身者によってそれは発信されている。

しかし、大阪弁が全国的に広く流布する一方で、ニセモノの大阪弁が伝播されることもまた増えてきた。分かりやすくディフォルメされステロタイプなイメージが付与され、“こてこて”で“がめつい”大阪像が創造される。（※“こてこて”と“がめつい”は、共に本書中で紹介されている言葉）

文化の伝播に単純化が必要な過程であったとしても、元来の大阪弁が持っていた特質や背景について知っておきたいと思う。そこには、分かっていたけれど忘れていた、身近な言葉への再発見があることだろう。

関西圏で生活する人間なら、一度は目を通しておきたい。是非、一読を。

『大阪弁「ほんまもん」講座』 著者：札埜和男 発行所：新潮社 出版年：2006年3月
新潮新書 ISBN978-4-10-610160-1 : 定価 680円(税別) 購入手続中

■ 図書館からのニュース



1. 論文検索・収集法講座のご案内

雑誌論文の検索から入手方法までを、パソコンを用いてデータベース CiNii を中心に実習形式で説明します。10月の開催予定日時は下記のとおりです。

下記の日時に図書館カウンター前にお越しください。予約は不要です。
ご参加をお待ちしています。

日時 10月 9日(木) 15:00-15:30 10月15日(水) 15:00-15:30
 10月21日(火) 13:30-14:00 10月27日(月) 16:30-17:00

上記日程以外での参加を希望される方は、カウンターまでご相談ください。

2. 電子ジャーナル・オンラインデータベーストライアルのお知らせ

現在、附属図書館では次の2点の電子ジャーナル、オンラインデータベースのトライアルを行っております。この機会にどんどんご利用ください。ただし、学内LANに接続されているパソコンからのみ利用ができます

附属図書館ホームページの情報検索●トライアルからご利用いただけます。
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

- (1) 朝日新聞 聞蔵Ⅱ ビジュアル 11月30日まで
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/kikuzo.html>
本学図書館で利用できる朝日新聞記事検索DBのビジュアル版です。
新聞本紙を読むような感覚でご利用できます。
- (2) BioOne 10月31日まで
<http://www.bioone.org/>
BioOneは、北米の学術出版連合(SPARC)が推進するプロジェクトの一環として2001年に始まった非営利の電子ジャーナルサービスです。
利用できるジャーナルタイトル一覧
<http://www.bioone.org/perlserv/?request=get-journals-list>

3. 教科書展開催について

今年は中等教育用教科書数学編として展示します。

日時：11月6日(木)～22日(土) 10:00～16:00
場所：附属図書館1階ロビー

4. 「うた」と「おはなし」の会開催について

例年10月に開催されています「うた」と「おはなし」の会は、今年は12月に開催予定です。「冬」や「クリスマス」をテーマに楽しいお話しや歌、遊びを企画しています。パネルシアター、手遊び、エプロンシアターなど、親子で一緒に楽しみましょう。

開催日 12月14日(日) 11:00～12:00

5. 紀要第113号の発行について

京都教育大学紀要第113号を9月30日発行しました。近日中に図書館ホームページにも掲載予定です。

6. 職場体験実習について

9月10日(水)、11日(木)、本学附属特別支援学校の生徒1名を受け入れ、職場体験実習を行いました。ご協力ありがとうございました。

7. 新館1階書架の一部更新について

9月29日(月:臨時休館日)、30日(火:休館日)にかけて新館1階の木製書架をスチール書架に更新しました。

■ 論のくちび理のむすび・・・郷間英世(発達障害学科 教授)

「幼稚園・保育園における

「気になる子」に対する保育上の困難さについての調査研究」

郷間英世・圓尾奈津美・宮地知美・池田友美・郷間安美子

京都教育大学紀要 No.113 : pp.81-89

私が子どもの発達に興味を持つようになったのは、小児科医として発達障害の子どもと関わるようになってからです。その後教育学部に移り障害児教育を仕事とするようになって、K式という発達検査をつくる機会がありました。その中で現在の子どもの発達を20年前と比べた時、今の子どもは発達が遅れてきており、かつアンバランスになってきていることがわかりました。たとえば三角形を書けるようになる年齢は、20年前は平均4歳6ヶ月だったのが最近では5歳4ヶ月と8ヶ月も遅くなってきています。そして図形や絵がかけない子はいわゆる「気になる子」に多いようです。「気になる子」とは、知的な遅れはないのに、落ち着きがない、感情をうまくコントロールできない、他児とトラブルが多い、などの特徴を持つ子どもや、LD・ADHD・高機能自閉症などの発達障害の特徴を持っているのに診断のついていない子どものことで、幼・小児期の子どもの中にたくさんいます。

この論文は「気になる子」に対する保育園や幼稚園での指導のなかで、どのような問題や課題があるのかを調査したものです。その結果「気になる子」は診断がついていないために、先生にとって理解しにくく、指導上の問題が大きいことがわかりました。また、その保護者も子どもの問題を十分受け止めていないために、先生が子どもの問題について保護者と話し合ったり、就学時に教育機関と相談したりすることが難しいことがわかりました。「気になる子」はどれくらいいるのでしょうか。私たちの調査した2007年の京都市保育園では男児21%、女児5%、全体で約13%であり、知的障害や自閉症などの障害児に比べ約3.5倍という多さでした。「気になる子」の中には年齢になって、友達とうまくかかわれなかったり、学習に困難をきたしたりして、特別支援教育の対象になってくる子どもがたくさんいます。したがって現在、医療や教育の場でのより早い対応が求められている子どもたちです。

全文は近日図書館HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。

■ 図書館開館スケジュール



(通 常)

開館時間： 9:00

閉館時間： 21:00

一部期間は 17:00 に閉館します

下記カレンダー「～17:00」と記載

10

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
						1		2		3		4	
													～17:00
5		6		7		8		9		10		11	
休館													～17:00
12		13 祝		14		15		16		17		18	
休館	休館												～17:00
19		20		21		22		23		24		25	
休館													～17:00
26		27		28		29		30		31			
休館													

11

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
												1	
													～17:00
2		3 祝		4		5 整		6		7		8	
休館	休館					休館							～17:00
9		10		11		12		13		14		15	
休館													～17:00
16		17		18		19		20		21		22	
休館													～17:00
23 祝		24 振		25		26		27		28		29	
休館	休館												～17:00
30													
休館													

10月13日(月)は祝日のため休館します。

11月3日(月)は祝日のため休館します。

11月5日(水)は館内整理のため休館します。

11月24日(月)は振替休日のため休館します。



京教図書館 News No. 97 2008年10月号

編集発行：京都教育大学附属図書館

発行日：平成20年10月1日

内容に関するお問い合わせ先：

附属図書館(内線8176)



京都教育大学